



研修員のマカさん(左)、
デバラさん(中)、グスタヴォさん(右)



世界のこと、もっと知りなさい!

もしり

Moshiri



北海道の人々へ“ありがとう”

研修員から北海道の皆様へ感謝のメッセージ

日本の北海道、帯広市で3ヶ月間の研修。食べ物や人々に対する心配がありましたが、それらはすぐに解消されました。最も感銘をうけたのは日本人の暖かさです。他者への尊敬を表す礼儀正しい挨拶に圧倒されました。新鮮な料理を提供してくれるレストラン、フロントの親切な対応、人々と繋がるロビー。日本の文化や伝統も体験することができました。また落葉樹の鮮やかな色、自然の美しさは想像を超えるものでした。研修旅行からJICAへ戻るときはいつも、自宅に帰るように楽しみました。(インド:デバラさん)

One-dayおもてなしプログラム

国:ミャンマー 氏名:チョーさん

私は本別町を訪れ、たくさんの方々に暖かく迎えてもらいました。中学校を訪問し、日本の学校行事である文化祭で学生たちの発表を見れたのは、とても貴重な体験でした。地元の子どもたちとサッカーを楽しんだり、ホストファミリーと北海道名物「ジンギスカン」を食べながら、ミャンマーと日本の違いや私の住んでいる町についてはなしました。私にとって本当に素晴らしい忘れられない思い出です。



本別町を訪れ、
子供たちとサッカーで交流

華道講習

国:パキスタン
氏名:イクラさん

日本の伝統文化である生花教室に参加しました。初めは何をすれば良いかわかりませんでしたが、先生のお手本を見ることでイメージが湧き、また先生の作品のバランスの美しさに感激しました。実際に生けてみると、花を挿す方向や角度などに苦戦しましたが、先生やアシスタントの方にお手伝いしてもらい完成することができました。先生にも褒められてとても満足です。作品はセンターに飾られていて、もう少しの間自分の生けた花を見て楽しめそうです。



日本語 課外講習

国:ミャンマー
氏名:ウィンニーさん

日本語講師の木村先生。私たちのために、日本語課外講習を実施してくれてありがとうございます。日本人たちに自分の国や家族のことを紹介できるようになって嬉しいです。



浴衣の着付け体験

国:カンボジア
氏名:サラさん

日本に来る前から興味があった浴衣の着付け体験をすることができました。紐での締め付けが苦しかったですが、先生の手さばきは見事で、出来上がりに感動しました。浴衣のデザインも多種多様で美しく、一緒に参加した研修員や先生方と写真を撮って楽しみました。このような貴重な経験をさせていただき感謝します。帰国したら家族や友達に写真を見せて、日本文化を紹介したいと思います。



ワールド人間ばん馬 チャンピオンシップ

国:ウガンダ
氏名:ディクソンさん

JICAチームとしてこの大会に参加させていただき、日本の様々な地域から参加している方々と交流し、十勝の歴史にも触れる良い機会になりました。美味しい食べ物、大道芸、地域の方々との交流も楽しむことができました。来年も参加したいです!





JICA北海道(帯広)では、開発途上国から来た多くの研修員が、自国で必要とされている知識や技術を学んでいます。



手を合わせて
ခင်ဗျာတို့ဘွား
(ワナカム)
ဒီကမ္ဘာပေါ်ကတော့



SUTHAHARAN Kalpanaさん

カルパナさん

- 出身:スリランカ
- 研修コース:「地域資源に基づいた乳肉生産のための牛の飼育管理」コース

Q.スリランカはどんな国ですか?

インドの南側に位置する一年中温暖な気候が特徴の人口2,000万人ほどの島国です。お米やゴマ、とうもろこしなど生産が盛んな農業国でもあります。観光地としては美しい滝や山々、歴史あるお寺など自然と歴史にふれることが人気の国です。

Q.十勝の印象はいかがですか?

日本は初めての来たので、高層ビル等が建ち並ぶ都会的な印象を持っていました。研修の中で帯広の街中を巡ったり、明治チーズ工場や多くの農場を訪れました。十勝は大地が広がり、自然豊かな土地だと感じています。

Q.JICAでの研修内容は?

牛の飼養管理を学びにきました。十勝では農協や農家の方々、帯広畜産大学などからたくさん協力して頂きました。牛の栄養管理、繁殖、サイレージ作り、牛乳の品質管理、PDマニュアル作りなど広く学びました。



Q.日本で学んだ事をどのように自国で活かしたいですか?

スリランカの現在の課題は、牛の栄養管理にあります。地域資源を活かした飼料作りで牛の乳質や肉質の改善で畜産農家の収入を向上させたいです。具体的には栄養価をあげることで肥育期間を短くし出荷サイクルを早める事をしていきたいと思っています。



帯広畜産大学
生命・食料科学研究部 家畜生産科学分野
生産管理学系 花田 正明 准教授

Q1 国際協力 (JICA研修員受入事業) に携わるようになったきっかけを教えてください。

大学に赴任した際、すでに所属していた研究室でJICAの研修事業を担当しており、上司から強制的にJICA研修事業に参加するように指示されたことがきっかけで、残念ながら自発的な参加ではありませんでした。しかし、今ではその上司に感謝しています。

Q2 どのような想いでJICA研修にご協力いただいていますか。

お腹が空くと怒りやすくなりますので(私だけかもしれませんが)、お腹が満たされれば世界の紛争も少なくなるのではと思います。このJICA研修事業が少しでも世界の食糧事情の改善に貢献できればと思っています。



Q3 思い出に残っている研修のエピソードを教えてください。

モロッコの研修員が研修で学んだこと(プラスチックバックを用いたサイレージ調製)を実践して地域の乳生産量を向上させていたことを見たとき、研修を担当させていただいて良かったと感じました。一方、紛争中にもかかわらずメールで近況報告をしてくれていたシリアの研修員からオーストラリアに移住したと連絡を受けたときには、研修員の無事を喜んだと同時に非力さを感じさせられました。

Q4 今後、このコースをどのようにしていきたいですか。

海外で展開しているJICA事業(技術支援プロジェクトと協力隊派遣事業など)との連携を図り、各地域の畜産振興により貢献できる研修コースにできればと思っています。



青年海外協力隊

茂北斗さん

- 派遣国:ガーナ
- 職種:理数科教員
- 派遣期間:2016年9月~2018年9月



マーハ!(こんにちは)アフリカのガーナ派遣の茂北斗です。ガーナのボルタ州の小さな町カジェビで高校の理数科教員をやっています。派遣されて1年があっという間に経過しました。アフリカの生活は日本とは大分違って少し不便な反面、新鮮で楽しいです。時刻表はなく、家の中の水道は1度も出たことがなく、停電も頻繁に起きます。この記事も停電中に書いています(笑)。物を運ぶときなどは頭に掛けています(笑)。

小さな町ですが僕の高校は州の中では進学校で、生徒数は2000を超えています。学校では化学を担当しており1年生の授業35分×24コマを毎週教えています。試験の作成や成績管理なども自分でやっているのでもよく言語の壁にぶつかりますが、意外と何とかなるのもびっくりです。晩御飯は毎食現地のガーナ人と一緒に食べています。メニューはお任せしていて、ほぼ現地食です。日本に帰国した時に全力を出し切ったといえる活動になるよう残り1年間頑張ります。



頭に載せて運ぶ、売り物のバナナ



「フフ(お餅のような主食)」を作っている様子

2017年度
3次隊

道東から出発の
新ボランティア紹介

Question

- ①現地での活動
- ②活動の抱負もしくは目標
- ③2年間でやりたいこと



前田 有貴子さん



- 出身：帯広市
- 派遣国：ケニア
- 職種：コミュニティ開発

青年海外協力隊

- ①ヘルスセンターで疾病予防、生活改善のための啓発活動を行います。
- ②より多くの方が健康に暮らせる地域づくりを目指して頑張ります。
- ③友達をたくさん作って現地の人々と楽しい時間を過ごしたいです。



工藤 成美さん



- 出身：千歳市
- 派遣国：キリバス
- 職種：環境教育

青年海外協力隊

- ①有機ごみを利用したコンポスト作り、学校菜園の運営。
- ②子どもたちや地元の方々と一緒に楽しみながら環境について学べるイベントを開催します！
- ③地球温暖化等の影響で水没の危機にあるキリバスの現状を世界に発信したいです。

道東ではないけれど、
JICA北海道(帯広)の
元スタッフが出発!!

草の根技術協力事業進捗報告

北見国際技術協力推進会議が実施している草の根技術協力事業「モンゴル国生活習慣病予防と患者のセルフケア能力向上のための看護職人材育成事業」の活動で、モンゴルから医師1名と看護師2名が来日し、10月17日から31日までの約2週間、北見市で研修を行いました。モンゴルでは肉料理を中心とする食生活のため、高血圧を中心とした生活習慣病患者が増加していますが、生活習慣の管理が病気の予防と改善に繋がることが人々に理解されていません。本プロジェクトは、生活習慣の管理の大切さを人々に教育する役割を担う看護職の育成を目標としています。毎日の血圧チェック、塩分を控えたバランスの良い食事、日々のセルフケアの大切さがモンゴルの人々に伝わるよう頑張っています。



日本食を作り健康的な食生活を学びました



日本の専門家と現地での指導方法を検討

『「知らないなんて、もったいない」 中小企業海外展開支援セミナーin釧路』を 開催しました。

11月6日(月)、釧路市にて、日本貿易振興機構(JETRO)、釧路根室圏産業技術振興センターとの共催で、中小企業海外展開支援セミナーを開催しました。釧路地域の企業、団体から26名にご参加いただきました。

セミナーでは、JETRO海外調査部アジア太平洋課・小林恵介氏、JICA中小企業海外展開支援事業を活用してベトナムでの水質環境保全とビジネス展開に取り組む、正和電工株式会社の代表取締役・橋井敏弘氏、コンサルタントを務める株式会社長大の澤田義彦氏から「ベトナムでのビジネス事情」について講演いただきました。会場からは「わかりやすく、興味深い内容だった」等の声が寄せられました。ご参加、ご協力頂きました皆様に厚く御礼申し上げます。



セミナーの様子



講演する橋井社長

第13回「JICA理事長表彰」 表彰式を開催

10月18日(水)「JICA理事長賞」を9事業と3名に、「JICA国際協力感謝賞」を個人23名と6団体に授与することを決定しました。このうち、JICA北海道(帯広)が所管する道東地域からは、1997年の設立以来、地元の大学や自治体を中心となって寒冷地で培われた技術やノウハウを提供してきた北見国際技術協力推進会議と、20年間近くにわたり河川流域管理分野に関する研修員受入事業にご尽力いただいた小野有五氏(北星学園大学教授)が「JICA国際協力感謝賞」を受賞されました。





JICA北海道(帯広)図書資料室「おびくっく」

おすすめ図書

『なくなりそうな世界のことば』



●著者/吉岡 乾 ●イラスト/西 淑 ●発行所/株式会社 創元社

「ちゃんとドーしたか？」— さて「ドー」とは一体何のことでしょうか。これはミャンマーなどの一部地域で話されているラワン語で、十分に火が通るまで食材を弱火で煮込むことを表しています。世界で話されている言葉の数はおよそ7,000。しかし、ラワン語のように少数の人が限られた地域で使っている“小さな”言葉が次々に消えようとしているのです。本書は世界の50の少数言語の中から各言語の研究者たちがその言葉らしさを感じる単語を選び、ユーモア溢れるイラストと共に紹介。考えたこともないような遠いどこかで、聞いたこともないような名前の言葉が話されていることに思いが馳せる、そんな一冊です。

開室時間 火曜日から日曜日 午後1時～午後6時30分

閉室日 月曜日・祝日・年末年始

お問合せ TEL/FAX 0155-41-4100

JICA北海道(帯広)レストラン

おびくっく

1/9～3/31までの期間限定メニュー

— 営業時間 —

昼 / 11:30～14:00

夜 / 17:30～20:30

(ラストオーダー 30分前、不定休)



ワールドランチアフリカ篇

.....800円

世界のおいしい料理が食べられるお得なセット!牛肉をサフラン、レーズン、トマト等と数種類のスパイスで煮込んだ「牛肉のモロッコ煮」。手羽もとを使ったケニアのあっさりした煮込み料理「鶏肉を使ったカラंगा」。エジプトのヒヨコ豆のディップ「フムス」。チュニジアや北アフリカ一帯でよく作られるサラダ料理の1つ「人参とオレンジのサラダ」。そしてターメリックライス、ピタパンを付けました!



石田 弥生

8月より研修事業を担当している石田です。昨年末に引っ越してきて、十勝に住むのは約20年ぶり、北海道で働くのは初めてです!少しずつ十勝・道東の魅力を再発見したいと思います。今年の冬はウィンタースポーツに再挑戦しようかな!?と考え中です。まだまだJICAも十勝も初心者ですが、来日した研修員が帯広で快適に過ごせるように、そして日本を満喫できるようサポートしてまいります。どうぞよろしくお願ひします。



JICA北海道(帯広)研修コース発表会一般公開のお知らせ

JICA北海道(帯広)では、市民の皆さんにJICA研修員受入事業を広くご理解いただきたく、研修発表会を公開しています。途上国の現状を知るとともに、参加研修員が十勝・帯広で学んだ技術を帰国後どのように活かしていくのか聞いてみませんか?発表は英語で実施されます。

●2017年度 冬のスケジュール(定員5名・先着順)

日程	研修コース名	内容	場所	締切
2/16	農業地域における経営力・マーケティング強化による地場産業振興(B)	研修成果発表	JICA北海道(帯広)	2/14

※お申込は締切日までをお願いします(定員5名・先着順)

※研修発表会は変更になることがあります(開催日が近くなりましたら、ホームページでご案内を致します)

What's new!

JICA北海道(帯広)発
インフォメーション

お問合せ

TEL.0155-35-1210

国際フェスタ in とかち 2018 ～十勝から、世界に羽ばたく人材を育てる。～

■日時:2018年2月10日(土)・11日(日・祝) 10:00～15:00

■会場:森の交流館・十勝/JICA北海道(帯広)

毎年恒例の国際フェスタが2月10日(土)・11日(日・祝)の2日間にわたり開催されます。今年の無料映画上映会の作品は「ナイス・ピープル」です。他にも、研修員と一緒にパステルアートを作るキッズコーナーや、フェアトレード商品の販売コーナー等、お子様から大人まで楽しめる企画を多数ご用意しておりますので、是非遊びにきてください。



(c)Thelma/Louise

ナイス・ピープル

内戦を逃れ、スウェーデンの田舎町ボーレンで暮らすソマリア難民の若者たちの映画。伝統的な氷上スポーツ「バンディ」のチームを結成し、世界選手権への出場を目指す。アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭観客賞ノミネート作品。



途上国への理解を深めよう! ～研修員学校訪問～

開発途上国から来日中のJICA研修員が学校を訪問し、児童・生徒との交流を通じて開発途上国や国際協力への理解を深めてもらうプログラムです。2月より、2018年度の訪問校を募集いたしますので、積極的にご活用ください。

<https://www.jica.go.jp/obihiro/enterprise/kaihatsu/haken.html>

※ご不明なことがございましたら、お気軽にご相談ください。